

# 第32回 電気設備学会賞



第32回電気設備学会賞の表彰式が4日、東京都千代田区の如水会館で開かれる。第21回会長賞は、日高邦彦氏(東京電機大学)を選定した。第9回学会功績賞は後藤清氏(関電工)、林則行氏(宮崎大学)を選んだ。第14回星野賞は山口健二氏(パナソニックライフソリューションズ)に贈る。

## 優れた業績に深い敬意

一般社団法人電気設備学会 会長 高岡 成典

電気設備学会は、前身の電気設備工学会が設立された1980年をもって創立41年を迎えました。事業の一環として電気設備の学術と技術の進歩に資するため、特に顕著な功績を表彰してまいります。この学会賞は、会長賞、星野賞、学会功績賞ならびに学術部門、技術部門および技術振興部門の各賞から成っております。この賞が、これに全国大会の発表奨励賞の受賞者に加え、総会の場で顕彰しております。会長賞は、電気設備の分野で顕著な功績を挙げられた方々、または本会の発展・充実に著しく貢献した方々計35名が、過去20回の表彰で受賞されております。今回は、電気工学における高電圧分野において多くの優れた功績を挙げ、国内外における複数学会の会長職をはじめ、重役を歴任、電気設備学会では様々な委員会委員長として成果を挙げられた日高邦彦氏が受賞されました。星野賞は、電気設備学会の国際貢献への寄与、または電気設備の学術・技術に係る国際的に顕著な功績を表彰するもので、これまでに23名の方々が受賞されております。第14回の今回は、建築電気設備における感電保護を中心とした、保護装置に関する特性と設置基準を安全性の観点でI E Cへ積極的に意見提案を行い、その国際的専門的知見を活かして、低圧電気設備の安全に大きく貢献した山口健二氏が受賞されます。学会功績賞は本会の発展・充実に大きく貢献した会員を対象に、これまでに18名の方々が受賞されております。第9回の今回は2名が受賞されました。最も歴史ある部門別学会賞は今回で32回を迎え、これまでに学術部門203件、技術部門158件、技術振興部門76件が表彰されております。今回は、学術部門8件、技

〈会長賞〉  
■日高邦彦氏(東京電機大学)  
気体絶縁材料の絶縁媒体としての特性研究や絶縁破壊電界・沸点予測の精度向上研究、エポキシ樹脂の電気トリーの進展と部分放電特性の研究のほか、真空遮断器の直流遮断性能評価研究などに従事されており、多くの優れた功績を挙げている。電気設備学会では、電気設備機器の絶縁設計標準化の調査研究、電気設備のスマート保安の先駆けとなる保安点検の高度化研究のほか、直流の利活用の調査研究などの委員会の委員長として多くの成果を挙げている。  
〈星野賞〉  
■山口健二氏(パナソニックライフソリューションズ)  
電気自動車やリチウムイオン電池など新規製品に関する電気設備の設置基準の立ち上げに尽力。新しい分野である直流給電設備では、日本提案の採用に向けI E Cへ積極的に活動を行った。その国際的専門的知見を生かして、新しい電気設備である電気自動車用の充放電設備や蓄電池シス

テムの規範である電技解釈への反映に注力し、低圧電気設備の安全に貢献した。  
〈学会功績賞〉  
■後藤清氏(関電工)  
2015から19年にかけて学会副会長を務められるかたわら、企画運営会議では主査を2年、議長を2年務めるなど、学会の運営に対して貢献。特に、人材育成や新規事業の創設に意欲的に取り組み、学生研究発表会の発足や情報システムの整備にも寄与した。学会の経営改革強化委員会にて経営改革活動方針を立案、実施するなど財政基盤の健全化に貢献した。  
■林則行氏(宮崎大学)  
2007年度から15年度まで九州支部長と本部理事を務め、支部の事業運営、支部活動の活性化、会員数の拡大に尽力。支部の発展に寄与した。1999年の福岡水害を受け、自主研究「電気設備と水害」を幹事会主査として2002年に報告するなど、学会の技術レベルの向上に努めた。

### 学術部門

〈論文賞〉  
■論文「太陽光発電・蓄電池導入を目的とした需要家向けEMSシミュレータの開発～蓄電池内部温度制約の考慮～」＝佐々木豊(広島大学)、造賀芳文(同)、餘利野直人(同)、間屋口信博(中電工)

〈論文奨励賞〉  
■論文「大規模ビルマルチ空調設備群の高速デマンドレスポンス集積による仮想発電所の可能性」＝衣笠仁(岐阜大学)、嶋川忠三(同)  
■論文「F D T D解析に基づく構造体基礎接地インピーダンス等価回路」＝山中章文(同志社大学)、長岡直人(同)、森田祐志(きんでん)  
〈学術奨励賞〉  
■研究速報「焼酎粕活性炭を用いた電気二重層キャパシタの充放電特性と電極厚みの関

係)＝江口卓弥(福岡工業大学)、田島大輔(同)  
■技術資料「電線大径化(ECSO)普及のための異径ジョイント工法の提案と検証」＝米津大吾(関西大学)、矢野剛(住友精密工業)、益尾和彦(元日本電線工業会)  
〈資料・総説賞〉  
■特集記事「A I・ビッグデータを活用し

た電気設備の漏電予測技術」＝山口順之(東京理科大学工学部電気工学科)  
〈資料・総説奨励賞〉  
■特集記事「最近の電気設備保守業務から見てくる将来動向」＝酒井重嘉(関電工)  
■特集記事「近未来の人材育成」＝米盛弘信(サレジオ工業高等専門学校機械電子工学科)

### 技術部門

〈優秀施設賞〉  
■東京医科大学病院 新大学病院棟の電気設備＝大林組(設計・施工<総合>)、きんでん(施工<電気設備>)、関電工(同<同>)  
ガスコンジェネと非常用発電機、UPS等を組み合わせた、BCP対応電源システムや放射線機器等の短時間の運転状況をBEMSに取り込んだシステムを構築。全館LED採用で、人にやさしい照明を実現している。  
撮影＝千葉顕弥

〈優秀施設賞〉  
■大宮区役所新庁舎の電気設備＝大成建設(計画・設計・施工<総合>)、久米設計(計画・設計・監理)、関電工(施工<電気>)  
高効率な熱源・空調システム、自然通風、自然採光、雨水利用、太陽光発電、全館LED照明、照明制御などの省エネ技術を積極的に採用。約30%のエネルギー削減を達成し、CASBE Eスラングの認証も取得している。  
撮影＝井上登写真事務所

〈優秀施設賞〉  
■オブジェシブルの電気設備＝竹中工務店(設計・施工)、きんでん(施工<電気>)、住友電設(同<同>)、ジョンソンコントロールズ(同<BA>)  
自然光の活用と明るさ感を高める照明・センシング、フレキシビリティと省人化施工の両立、高い防犯性能と拡張性を有するセキュリティ計画を行い、全電化テナントオフィスビルでのZEB Readyを実現した。  
撮影＝井上登写真事務所

〈最優秀施設賞〉  
■大手町プレイス「ウエストタワー、イーストタワー」の電気設備＝日本設計(計画・設計・監理)、NTTファシリティーズ(同)、竹中工務店(ウエストタワー施工<総合>)、大林組(イーストタワー実施設計・施工<同>)、きんでん(施工<電気設備>)、NTTコミュニケーションズ(同<同>)  
大容量CGS(ガスエンジン)2台により、受電電力を一定とするピークカット運転と、隣接建物に熱供給することで、地域を含めた高いエネルギー効率を実現している。ICT・IoTを活用した効率的な運用や利便性向上を実施している。  
撮影＝川澄・小林研二写真事務所

### 技術振興賞

〈振興賞〉  
■ZEBをもっと身近に～ティ・エス・テック新本社ビルの電気設備＝竹中工務店(設計・監理・総合施工)、ダイダン(施工<電気>)  
空調負荷の最小化による動力容量削減、変圧器容量の低減と高効率運転、画像センサによる不在制御、ワイヤレス照明制御、太陽光発電装置の最大化を行った。一般オフィスビルの建築費以下で基準ビル比80%以上減のNearly ZEBを実現した。  
撮影＝小川重雄

〈優秀開発賞〉  
■名古屋東急ホテルのリニューアル電気工事による技術開発＝日本電設工業(計画・施工)、川北電気工業(施工<電気>)  
施設事務機能保持のため仮設高圧受電設備を用いてコスト、設備容量裕度、信頼性を確保。施工前に作業工程・方法のシミュレーションを実施して綿密な工程計画立案し、短期間リニューアル工事が実現している。  
撮影＝井上登写真事務所

〈優秀開発賞〉  
■ビッグデータと連携したA Iによる建物設備のリアルタイム制御システムの開発＝竹中工務店(設計・エンジニアリング)、朝日機器(自動制御・中央監視)  
ビッグデータをもとにA Iが自律的な学習をし、建物固有の特性に合わせて継続的にチューニングを行うことにより、建物の省エネルギー化をリアルタイムの制御で実現した。  
撮影＝井上登写真事務所

〈最優秀開発賞〉  
■建物付帯型のCO<sub>2</sub>フリー水素エネルギー利用システムの開発＝清水建設(設計・BEMS開発)、産業技術総合研究所(合金開発)  
水素を統合的に管理する装置ならびにBEMSを一体化した技術を開発した。電気・熱・水素の統合的なエネルギー管理が可能となり、短期・少量の電力貯蔵には蓄電池を、長期・大量の電力貯蔵は水素への変換が可能になった。  
撮影＝井上登写真事務所

大成建設株式会社  
代表取締役社長 相川善郎

清水建設株式会社  
取締役社長 井上和幸

株式会社 大林組  
取締役社長 蓮輪賢治

株式会社 竹中工務店  
取締役社長 佐々木正人

日本電設工業株式会社  
代表取締役社長 土屋忠巳

川北電気工業株式会社  
代表取締役社長 大津正己

住友電設株式会社  
取締役社長 谷信

未来のビルはZEB(ゼブ)になる。  
ZEBとは、太陽光・地中熱の利用や照明・空調などをデザイン&コントロールし、エネルギー消費量を限りなくゼロにしながら、快適性も実現した建物。ダイダンは人と地球にやさしい未来のビル、ZEBの普及を推進しています。  
ZEB = Net Zero Energy Building / ネット・ゼロ・エネルギー・ビル

ZEB PLANNER  
ZEB LEADING OWNER

ダイダンは、経済産業省が定める「ZEBプランナー」「ZEBリーディングオーナー」に認定されています。

ダイダンの最先端テクノロジーがここに → <https://www.daidan.co.jp/>

チーム、きんでん。  
(施工力+技術力+現場力)×情熱

エネルギー + 環境 + 情報

「お客さま満足」という目標に向かって、さまざまなスタッフが力を結集。人間力を基盤とした総合エンジニアリング力で、あらゆるソリューションにお応えします。

きんでん  
〒108-8533 東京都港区芝浦4丁目8番33号 <https://www.kinden.co.jp/>

ひとりひとりが、未来を灯す。

KANDENKO  
〒108-8533 東京都港区芝浦4丁目8番33号 <https://www.kandenko.co.jp/>